



自然豊かな富士山静岡空港周辺の様子(空撮写真)

貴重生物の保全

空港建設工事を始める前に生息状況の調査をして、生息に適した場所に移植したり、数の少ない動植物などは、増殖による保全も行いました。



貴重生物の工事前調査



千頭ヶ谷ビオトープに移植したタコノアシ



ボランティアによるゲンジボタルの放流



ゲンジボタル

森林環境のエコアップ

緩衝緑地として取得した空港周辺の森林や竹林を整備することにより、多様な動植物が生息できる豊かな里山環境の復元に努めています。

スギ人工林の整備



整備前



整備後

自然環境の整備

それぞれの動植物にあった生息環境を復元したり、新しく作ったりしました。また、赤坂池、千頭ヶ谷付近の谷戸田(谷地にある水気の多い湿田)を利用してビオトープを整備しました。



調整池下流河川



千頭ヶ谷ビオトープ



湧水を利用したカエル池の整備



ニホンアカガエル

オオタカの保護対策

空港を含む4,000haを保護対策の対象範囲とし、オオタカが安心してヒナを育て続けられるよう、巣を作ったり、エサをとったりできる環境の保全と整備を進めています。



オオタカ



空港建設地

空港を囲む周辺の4,000haが保護対策の対象範囲

もっと
知りたい!
Q&A



Q.私たち中学生でも参加できる 自然環境保護活動はあるのですか?

A.あります。NPO法人「榛原里やまの会」では、ビオトープの管理や貴重生物の保護の他、ホタルの観察会や正月飾り、ツル細工作りなど、中学生も参加できる自然とふれあう活動を行っています。

「榛原里やまの会」のホームページをチェックして参加してみよう!! <http://www.hai-satoyama.jp>